

映画上映と関連郷土史のお話

箱根用水を建設した農民の物語



第一部

1952年作品 山本薩夫監督

箱根風雲録

第7回毎日映画コンクール 女優主演賞、第3回ブルーリボン賞 主演女優賞 山田五十鈴

137分、監督・脚本：山本薩夫、音楽：大木正夫、撮影：前田実、
出演：河原崎長十郎、中村翫右衛門、轟夕起子、山田五十鈴、飯田蝶子、石黒達也他
原作はタカラ・テルの『ハコネ用水』。浅草の商人である友野与右衛門（河原崎）
は、芦ノ湖の水を潜穴を掘って箱根の西まで引く用水工事を計画した。地元の農民と
力を合わせ難工事は進むが、江戸幕府の役人たちはこれを妨害し、与右衛門を何度と
なく捕らえるのだった。開始から三年目、ついに工事は完成。芦ノ湖の水がこの箱根
用水を通り、水不足に悩む農地に注がれた。



潜り穴を潜る 高倉淳先生

第二部

キネマ 街物語

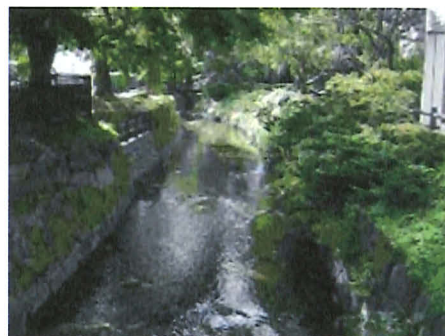
江戸時代の治水事業 「仙台領の潜り穴」

故高倉淳先生の「潜り穴調査」に同行した経験をお話
します。

仙台郷土研究会会員 加藤純二

若林区を流れる水路 六郷堀・七郷堀

六郷堀・七郷堀は、名取川水系広瀬川の水を愛宕橋下流にある愛宕堰から取水し、
仙台市東部の田園地帯に水を供給している重要な農業用水路です。この水路は江戸
時代に開削された歴史のある堀で、かつては伊達政宗晩年の邸宅として築造された
若林城の濠にも活用されるなど、昔から農業用排水、防災用水、生活用水として重
要な水路でした。藩政時代に水路を活用した舟運の重要拠点であったことを示す舟
丁、南材木町や、取水された水が染色産業に用いられたことを伝える南染師町など
の地名に名残を残すように、農業のみでなく地場産業の発展にも寄与し、身近な水
辺として周辺住民のふれあいの場としても活用されてきた歴史のある水路です。



若林まちづくり推進課助成事業

参加費 【一部 二部 合わせて】

9/22 (祝) 12:00~

一般 500円
映画村会員 300円

南小泉町内会館

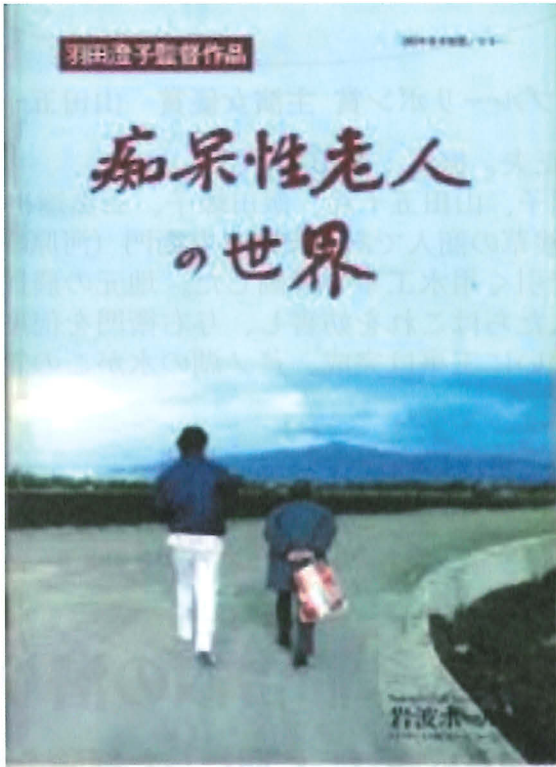
仙台市若林区南小泉1丁目8-28

地下鉄東西線「薬師堂駅」から「古城三丁目方面」市営バスで南小泉二丁目下車
徒歩1分 セブン-イレブン南小泉店裏

主催・問合せ：右岸の羊座シネマテーク 070-5326-1974 大越まで

羽田澄子監督作品 ドキュメンタリー映画 「痴呆性老人の世界」 上映会

1986年毎日映画コンクール教育文化映画賞、キネマ旬報ベストテン文化映画部門1位、日本映画ペンクラブ・ノンシアトリカル部門第一位に輝き、公開当時大変な話題を呼んだこの作品を、30年後の今、認知症問題を考えるきっかけに上映します。



1986年作品、84分、カラー

1986年公開時のコメント

今、日本は非常な勢いで、高齢化社会を迎えつつあり、さまざまな問題が起きている。痴呆性老人の問題もそのひとつである。しかしその対応はまだ手探りの状況にある。

痴呆とは何か、痴呆性老人とはどのような人々で、いかに対応すべきか、この問題は、ある施設に収容されている痴呆性老人たちの姿を通して、一般の人々の理解を深め、またこの問題に直面している人々の助けとなることを願って製作したものである。



羽田澄子

1945年自由の森学園を卒業、50年に設立された岩波映画製作所に入社、編集に携わる。その後1957年「村の婦人学校」で監督デビュー。以来80以上の作品を手がけている。1983年には「早池峰の賦」を完成させ、芸術選奨文部大臣賞を受賞。1984年にはエイボン芸術賞も受賞し、数少ない女性ドキュメンタリー監督としての地位を確立する。

主催・問い合わせ 右岸の羊座シネマテーク 070-5326-1974 (大越)

9/22 (祝)
午前10時から

(作品観賞後
茶話会を開催します。自由参加)

参加費 500円

会場 南小泉町内会館
仙台市若林区南小泉1丁目8-28

